

博士前期課程(修士) / 助産看護学領域 / 助産看護学分野科
目コード:280001

助産学概論 Introduction to Midwifery

担当教員	亀田 幸枝、吉田 みち代(非)、彦野 亜希子(非)、椿 麻衣子(非)				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	(3)	◎	
Keywords	助産、助産師の専門職制、助産師教育、業務、地域母子保健、関連法規、職業倫理				
学習目的・目標	1. 助産学の基本理念に基づき、助産の概念と変遷、助産師の職業倫理、国内外の母子保健の現状を理解し、助産師の責務と役割について説明できる。 2. 助産師の職業倫理に関する課題を理解し、自身の専門職としての立場や役割について考察できる。				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1-2	オリエンテーション、学習課題提示 ・助産の概念(助産とは、助産師の専門職制) 【課題提示】 ・助産師と職業倫理 ・助産師、助産、出産文化などから「命が生まれ、育むことについて考える」(レポート) ・	講義	亀田		
3	助産師教育の変遷と現状、お産の歴史と文化	講義	亀田		
4-5	助産師と専門職能団体	講義	吉田・彦野(亀田)		
6	海外における助産師の教育	講義	椿(亀田)		
7-8	助産師と職業倫理 助産師、助産、出産文化などから「命が生まれ、育むことについて考える」	プレゼンテーション 討議	亀田		
	定期試験				
教科書	助産師基礎教育テキスト第1巻 助産概論・母子保健:日本看護協会出版会(最新版) 新版 助産師業務要覧(Ⅰ基礎編・Ⅱ実践編):日本看護協会出版会(最新版)				
参考図書等	助産師基礎教育テキスト第3巻 助産サービス管理:日本看護協会出版会(最新版) 助産学講座 基礎助産学[1] 助産学概論:医学書院 臨床助産師必携 生命と文化をふまえた支援:医学書院 厚生指針 臨時増刊 国民衛生の動向:(財)厚生統計協会他				
評価方法・基準	定期試験60%、レポート10%、プレゼンテーション・討議30%				
関連科目	助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)、助産実践実習Ⅰ-2(正常)、助産実践実習Ⅱ(ハイリスク・継続)、地域母子保健特論、助産管理特論、助産管理実習				
教員から学生へのメッセージ	助産学領域の基礎となる本科目は、学びの出発点として助産師としての視野が広がる授業内容を目指しています。この科目では、助産の概念や変遷、職業倫理、国内外の母子保健の現状などを学び、助産師の責務と役割について理解を深めます。皆さんには、問題意識を持ちながら積極的に授業に参加することを期待しています。				